

# 成長するぼくわたし



☆今、自分で「できる」のか「できない」のか、どちらかに○をつけ、「家でよくしている」場合は、もうひとつ○をつけてください。

見方・考え方	内容	項目	家庭科の学習	5年生 4月		5年生 3月		6年生 月		6年生 3月	
				できない	できる	家でよくしている	できない	できる	家でよくしている	できない	できる
協力・協働	A 家族・家庭生活	(1)ア	家族にささえられて自分が成長してきたことに気づいている。								
		(1)ア	家庭生活や家族の大切さに気づいている。								
		(2)ア	家庭での仕事を互いに協力し担う必要があることがわかる。								
		(2)ア	時間の使い方をくふうすることで、家族と協力することができる。								
		(2)イ	生活の中から問題を見だし、家庭の仕事の計画を考へくふうすることができる。								
		(3)ア	家族とのふれ合いや団らんの大切さがわかる。								
		(3)イ	地域の人々とかかわりを考え、生活のしかたをくふうすることができる。								
		(4)ア	生活の中から問題を見だし、よりよい生活を考へ家庭で実践することができる。								
		(4)ア	生活の中から問題を見だし、よりよい生活を考へ地域で実践することができる。								
		健康・快適・安全	B 衣食住の生活	(1)ア	食事の役割を知り、日常の食事が大切であることや食事のしかたについてわかる。						
(1)イ	楽しく食べるために日常の食事のしかたを考へ、くふうすることができる。										
(2)ア(ア)	計量スプーンや計量カップ・はかりの使い方がわかる。										
(2)ア(イ)	ガスこんろ(IH)の安全な使い方がわかり、やかんでお湯をわかすことができる。										
(2)ア(イ)	包丁やまな板を安全に正しく使うことができる。										
(2)ア(ウ)	野菜や果物を洗い、包丁を使って切ったり皮をむいたりすることができる。										
(2)ア(ウ)	適度な味付け、おいしく見える盛り付けができる。										
(2)ア(ウ)	衛生的で環境のことを考えた後かた付け(調理用具・ごみ)ができる。										
(2)ア(エ)	なべを使って、青菜やじゃがいもなどをゆでることができる。										
(2)ア(エ)	フライパンを安全に正しく使って、いためる調理ができる。										
(2)ア(オ)	米を洗って、なべでごはんをたくことができる。										
(2)ア(オ)	材料からだしをとり、みそしるをつくることができる。										
(2)イ	材料の分量や調理の手順を考へて調理計画を立てることができる。										
(3)ア(ア)	体に必要な栄養素の種類や働きがわかる。										
(3)ア(イ)	いろいろな料理や食品を組み合わせて栄養バランスのよい食事をとることがわかる。										
(3)ア(ウ)	主食・主菜・副菜などの組合せを考へて、1食分のこんだての作り方がわかる。										
(3)イ	栄養のバランス(五大栄養素)がよい1食分のこんだてを考へることができる。										

**ガイダンス** **5年生 4月**

・家庭科学習を通して、どのような家庭生活を送りたいと思いますか?

.....

.....

.....

・2年間でできるようになりたいこと

.....

.....

.....

**5年生でできるようになったこと** **5年生 3月**

.....

.....

.....

.....

.....

# 成長の足あと



☆今、自分で「できる」のか「できない」のか、どちらかに○をつけ、「家でよくしている」場合は、もうひとつ○をつけてください。

見方・考え方	内容	項目	家庭分野の学習	中学1年生 4月		中学2年生 4月		中学3年生 4月		中学3年生 2月		
				できない	できる	家でよくしている	できない	できる	家でよくしている	できない	できる	家でよくしている
協力・協働	A 家族・家庭生活	(1)ア	自分のこれまでの成長を振り返り、家族や家庭生活に支えられていることが分かる。									
		(1)ア	地域の行事、清掃などで家族や地域の人々と助け合っている。									
		(2)ア(ア)	幼児の体の発達や生活の特徴を知っている。									
		(2)ア(イ)	幼児の行動の仕方や遊びについて知っている。									
		(2)イ	幼児のことを考へて接することができる。									
		(3)ア(ア)	家族の一員として協力することの大切さが分かる。									
		(3)ア(イ)	高齢者の介助の方法を知っている。									
		(3)イ	高齢者など地域の人々と協力・協働して生活している。									
		(4)ア	家族、幼児、地域の生活の中から問題を見つけ、解決に向け計画を立て実践できる。									
		健康・快適・安全	B 衣食住の生活	(1)ア(ア)	食事を共にする意義や行事食・郷土料理に文化を伝える役割があることを知っている。							
(1)ア(イ)	1日3食を規則正しくとることの重要性や健康によい食習慣が分かる。											
(1)イ	自分の生活から食事の仕方に関する問題を見だし、よりよい食習慣を考へることができる。											
(2)ア(ア)	栄養素の種類と働きが分かる。											
(2)ア(イ)	中学生の1日に必要な食品の種類と概量を考へて1日分の献立を立てることができる。											
(2)イ	自分の1日分の食事内容の問題点を見だし、改善することができる。											
(3)ア(ア)	表示の内容を理解し、調理実習で使用する食品を適切に選ぶことができる。											
(3)ア(イ)	魚、肉、野菜などの生鮮食品を衛生面に気をつけて調理することができる。											
(3)ア(ウ)	煮る、焼く、蒸すの調理方法で料理を作ることができる。											
(3)ア(エ)	だしの取り方がわかり、汁物又は煮物などの和食の料理を作ることができる。											
(3)イ	食品を選び、手順を考へ、計画を立てて1食分の献立の調理ができる。											

**ガイダンス** **1年 4月**

家庭分野では、小学校家庭科と同じ3つの内容を学習します。  
3年間で、それぞれのようなことができるようになりたいですか? 3つの内容は「A家族・家庭生活」「B衣食住の生活」「C消費生活・環境」です。

.....

.....

.....

**1年生でできるようになったこと** **1年 3月**

.....

.....

.....

.....

**2年生でできるようになりたいこと** **2年 4月**

.....

.....

.....

.....

1年 組 番  
2年 組 番  
3年 組 番

名前

見方・考え方	内容	項目	家庭分野の学習	中学1年生 4月		中学2年生 4月		中学3年生 4月		中学3年生 2月		
				できない	できる	家でよくしている	できない	できる	家でよくしている	できない	できる	家でよくしている
健康・快適・安全	B 衣食住の生活	(4)ア(ア)	目的に応じた着用や個性を生かす着用の仕方考え、衣服を適切に選択できる。									
		(4)ア(イ)	衣服を長持ちさせるための手入れの仕方が分かる。									
		(4)イ	日常着の洗濯に関する問題を見だし、解決方法について調べ発表することができる。									
		(5)ア	製作する物に適した材料を選び、目的に応じた縫い方ができる。									
		(5)ア	ミシンやアイロンを安全に取り扱うことができる。									
		(5)イ	生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画を考へ製作することができる。									
		(6)ア(ア)	住居の基本的な役割が分かる。									
		(6)ア(イ)	高齢者や幼児の安全を考へた住空間の整え方が分かる。									
		(6)ア(イ)	室内の空気汚染や自然災害への対策が分かる。									
		(6)イ	家庭や地域での安全な住まい方に関する問題を見だし、安全対策を実践できる。									
持続可能な社会の構築	C 消費生活・環境	(7)ア	食生活、衣生活、住生活から問題を見つけ、解決に向けて計画を立てて実践できる。									
		(1)ア(ア)	収支のバランスを考へて、購入方法や支払方法の計画を立てることができる。									
		(1)ア(イ)	商品を買う時に、正しい情報を収集し、選択して買うことができる。									
		(1)ア(イ)	商品を買ってトラブルに巻き込まれた時の解決方法が分かる。									
		(1)イ	目的や予算にあったお金の使い方ができる。									
		(2)ア	消費者としての権利と責任があることを知っている。									
		(2)ア	自分や家族の消費行動が環境に与える影響を自覚している。									
		(2)イ	消費者としての責任ある消費行動について実践できることを考へ発表することができる。									
		(3)ア	自分や家族の生活から問題を見だし、環境に配慮した消費生活を考へ実践できる。									

**2年生でできるようになったこと** **2年 3月**

.....

.....

.....

.....

**3年生でできるようになりたいこと** **3年 4月**

.....

.....

.....

.....

**3年生でできるようになったこと** **3年 2月**

.....

.....

.....

.....

**3年間の家庭分野の学習を終えて、これからどのような家庭生活を送りたいと考えますか**

.....

.....

.....

.....